

保険調剤薬局開設・運営のための敷地貸付に係る運営事業候補者の選定について

標記事業については、平成 30 年 7 月に公募型プロポーザル方式により公募を行い、審査を行った結果、昨年 7 月、運営事業候補者として「株式会社なの花北海道」を選定していましたが、この度、下記の理由により、同社に加えて、「株式会社アインホールディングス」を追加選定することとしましたのでお知らせします。

記

1. 本公募型プロポーザルの二次審査では「株式会社なの花北海道」を運営事業候補者として選定していました。

その後、総長就任による新体制発足に伴い、審査手続きや選定プロセス等に関して再度確認するための内部調査が行われ、公募から一次審査、二次審査を経て選定に至るまでの手続き、プロセス等については法令違反、学内規則違反等の問題はなかったとの結論でありました。

また、公募前の段階で「株式会社なの花北海道」が留学生宿舍の提案を行っていることの疑念が一部報道で指摘されましたが、同社の一連の提案は、その時点で既に一般公表されていた本学の関係資料等により、留学生宿舍の確保が課題となっていることを認識し、同社の判断で行ったものであり、不審な点はなかったことが確認されました。

2. 一方で、運営事業候補者の選定後、新体制の発足、内部調査の実施等に伴い、相当の期間が経過し、現在、新型コロナウイルス感染症の拡大等、医療を取り巻く状況は大きく変化しています。

このような状況下においては、薬局の適切な運営に加え、薬局開設に伴い整備する診療スペースについても、優れた提案を期待できる事業者の知見をできるだけ広く取り入れて事業計画を決定することが、病院機能を高めることに繋がります。

さらに患者の利便性の向上、選択肢の拡大等のメリットが期待されるとともに、併せて感染症の拡大を想定した場合の感染リスクの分散、薬局事業の継続性も考慮して、複数の運営事業候補者を選定することが適当であると判断しました。

3. なお、二次審査の最終的な判断においては「株式会社なの花北海道」が選定されたものの、「株式会社アインホールディングス」とは大きな差異はありませんでした。また公募公告においては複数の運営事業候補者を選定する可能性があることを示しており、最終的に複数の運営事業者を決定することも排除していませんでした。さらに他大学においても複数の薬局が開設されている例が多くなっています。